

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター所長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察特殊報について

令和3年度病害虫発生予察特殊報第1号を発表したので送付します。

令和3年度病害虫発生予察特殊報第1号

1 害 虫 名 : チャトゲコナジラミ

2 学 名 : *Aleurocanthus camelliae*

3 発 生 地 域 : 沖縄本島中北部

4 発 生 作 物 : チャ

5 発生確認の経緯

平成 29 年3月に名護市のチャ園において、チャトゲコナジラミと思われる成幼虫がみられた。採集した成幼虫を農林水産省那覇植物防疫事務所に同定依頼した結果、県内未発生のチャトゲコナジラミであることが確認された。発生状況について、沖縄県農業研究センター名護支所による黄色粘着板トラップ調査において、本年5月 17 日～25 日に国頭村、大宜味村、名護市、うるま市のほ場で成虫が捕獲された。本年9月8日、9月 28 日に県内の主産地で見取り調査をしたところ、名護市のほ場で発生程度は極めて低いが、成幼虫が確認された(表1)。

6 被害

本種は、ツバキ科のチャ、ツバキ、サザンカのほか、モッコク科のヒサカキ、サカキ、マツバサ科のシキミなどに寄生する。チャでは成幼虫とも葉裏に寄生し、成虫は新芽、幼虫はすそ葉裏に寄生する(図1、2)。被害は、成幼虫による吸汁、および幼虫が排泄する甘露に誘発されるすす病(図3)によるチャ樹の生育阻害がある。さらに、チャ新芽の生育期にはおびただしい数の成虫が発生し、ほ場内を飛び回るため、摘採作業中に成虫が作業者の目や口、鼻に飛び込み、作業に支障をきたすことがある。

7 形態および生態

成虫の体長は、1.1～1.3mm で、前翅は紫褐色で不整形の白斑があり、白粉で覆われている(図1)。幼虫は、主に下位葉の葉裏に寄生する(図2)。扁平な紡錘型で光沢のある黒色周囲にリング状の白いロウ物質を纏い、周囲体側にトゲ(樹枝)状突起を有している。ふ化直後は歩行移動するが、定着後は移動しない。4齢幼虫を経て成虫となる。本土では年間 3～4 世代発生し、主に 3 齢及び 4 齢幼虫で越冬した個体が、翌春に成虫になるが、本県における発生生態は不明である。

8 防除対策

- (1) 幼虫は下位葉の葉裏に多く生息し、成虫は新芽によく集まるので、定期的にこれらの部分の葉裏を観察し、発生が確認された園では速やかに薬剤防除を実施する。
- (2) 成虫は、他のコナジラミ類と同様に黄色に誘引されるため、発生園および周辺地域に黄色粘着トラップを設置し、その発生状況を把握する。
- (3) 薬剤散布は、寄生の多い下位葉の葉裏に十分にかかるように丁寧に行う。薬剤をかか

りやすくするため、散布前に深刈せん枝やすそ刈り等を行うとともに、寄生葉は土中に埋めるなど適切に処分する。

(4) 発生地域からの苗木、生葉、作業機械及び人等の移動による本種の拡散に注意する。特に、改植園については定植時に防除を徹底する。

表1 茶園におけるチャトゲコナジラミ発生状況

市町村	発生ほ場数 /調査ほ場数	調査月日	幼虫 ¹	成虫 ²
国頭村	0/4	9月8日	×	×
大宜味村	0/1	9月8日	×	×
名護市	1/4	9月8日	○	○
うるま市	0/1	9月28日	×	×

1 すそ部にある5~10葉のついた枝を目視で調査した。100枝/ほ場。

2 20×20cm四方内の新芽をプラスチックバットに10回たたき落とした。30カ所/ほ場。



図1 新芽に集合する成虫. *



(拡大) *



図2 チャトゲコナジラミの幼虫と卵.
* 沖縄県植物防疫協会 安田慶次原図



図3 幼虫の排泄物に発生するすす病. *

★詳しくは沖縄県病害虫防除技術センターにお問い合わせ下さい★

TEL : (本所)098-886-3880、(宮古駐在)0980-73-2634、(八重山駐在)0980-82-4933

ホームページアドレス: <http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichujojo/index.html>